



山梨 - 静岡区間

中部横断自動車道全線開通

峡南地域の農産物の魅力

令和3年8月、中部横断自動車道 山梨-静岡間の全線開通により、峡南地域への来訪者が増えています。峡南地域は温暖な気候と富士川や南アルプスの伏流水に恵まれ、一年を通して様々な農作物が栽培されていますが、生産量が少なくあまり知られていない特産の農産物や農産加工品が数多くあります。そこで今回は、峡南地域の知る人ぞ知る農産物・農産加工品の魅力や収穫祭などのイベントを紹介します。

写真：南部町富沢地区を走る中部横断自動車道

Event: あけぼの大豆 枝豆の収穫祭

身延町特産の「あけぼの大豆」は、地域性が強く生産量が限られていることから「幻の大豆」といわれています。特にその枝豆は10月の数週間しか出回らない超希少品。収穫期に開催される直売会では、枝葉付きの新鮮な枝豆を購入することができます。



Pickup: レインボーレッド



レインボーレッドは、果肉の中心が赤いことが特徴のキウイフルーツです。収穫したては酸味が強いですが、何日か置いて熟成(追熟)させることによって、他のキウイでは味わえない甘みとなめらかな食感を味わうことができます。
販売時期：10月中旬～11月上旬

Check: あけぼの大豆の加工品

身延町あけぼの大豆拠点施設では、あけぼの大豆特有の“大きさ”と“甘み”を活かした様々な加工品を生産しています。生産量が限られているものの販売数は毎年増えており、今後より多くの人に「あけぼの大豆」の美味しさを知ってもらえるよう、新商品の開発や販売店舗の拡大に取り組んでいます。



写真：あけぼの大豆拠点施設での作業の様子と加工された商品

Event: 大塚にんじん収穫祭

毎年12月中旬、みたまの湯において大塚にんじん収穫祭が行われます。あまり市場に出回らない大塚にんじんや、地元野菜等を農家から購入する事が出来る貴重な場であるほか、大塚にんじんの加工品や料理を味わう事もできます。



写真：令和元年の収穫祭で振る舞われた大塚にんじんの丸揚げ

Check: 南部茶スイーツ



温暖で豊かな自然環境の中で育まれた茶は、リーフ茶やティーバッグ、ほうじ茶、和紅茶などに加工され、豊富な品揃えで年間を通して販売されています。

最近では茶葉や抹茶を利用したスイーツが道の駅や町のお菓子屋さんなどで増え注目を集めています。

Pickup: ショウガ

富沢地区におけるショウガ栽培の歴史は戦国時代にまで遡ります。近年特産品としての価値が見直され、道の駅などで販売されています。また、ショウガジャムなどの加工品もあります。

販売時期：9月下旬～11月中旬



Check: ゆず加工品

富士川町小室に拠点を置く、日出づる里活性化組合では、ゆずを活かした様々な加工品を生産・販売しています。

新たな商品開発にも積極的に取り組んでおり、令和3年6月には長期保存がきき、手軽にゆずの風味を味わえる「ゆずピネガー」が販売開始されました。

商品は組合の直売所や道の駅ふじかわなどのほか、毎年11月に同地域で行われるゆずの収穫祭にて購入することが出来ます。

組合は中部横断自動車道開通を受け、今後はゆずのオーナー制度を推進するなど、通年で地域のゆずを楽しんでもらえるようにしていきたい、と意気込んでいます。



写真:ゆずを活用した加工品

Pickup: 山ぶどう

世界で最も広く栽培される赤ワインの品種カベルネ・ソービニオンと山ぶどうを交配し開発された「ヤマ・ソーヴィニオン」。これを醸造した本格的な赤ワインや、山ぶどうのジュース、アイスなどがあります。

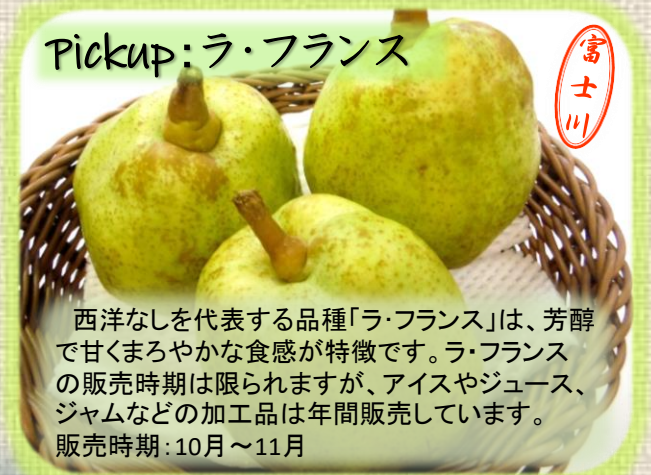
ワインは販売数量が少なく、毎年すぐに完売してしまいます。ワイン販売時期:11月頃



写真:山ぶどうジュースとヤマ・ソーヴィニオン

Pickup: ラ・フランス

西洋なしを代表する品種「ラ・フランス」は、芳醇で甘くまろやかな食感が特徴です。ラ・フランスの販売時期は限られますが、アイスやジュース、ジャムなどの加工品は年間販売しています。販売時期:10月~11月



Pickup: 伝統野菜

「茂倉(もぐら)うり」や「西山いんげん」など、早川町には伝統的に栽培されてきた特徴的な在来種が存在しています。

一般に出回ることはあまりありませんが、三里地区の「おばあちゃんたちの店」や町内の直売所で手に入れることが出来るかもしれません。

夏野菜シーズンにはよりアクセスが良くなった早川町へ、伝統野菜を探しに訪れてみてはいかがでしょうか。

販売時期:夏~秋頃



写真:皮が黄色くなるのが特徴の「茂倉うり」販売時期は7月上旬~8月上旬です。



Check: 和紅茶

お茶の豊かな香りを楽しむには「和紅茶」がオススメです。普段親しまれている外国産の紅茶とはまた違った、フルーティーな酸味やまろやかな甘みを楽しめます。

定番の南部茶の和紅茶はもちろん、早川町では幻の茶とも呼ばれる雨畑茶の和紅茶も生産されており、両町の和紅茶を飲み比べれば産地によって異なる和紅茶の味を楽しむことができます。

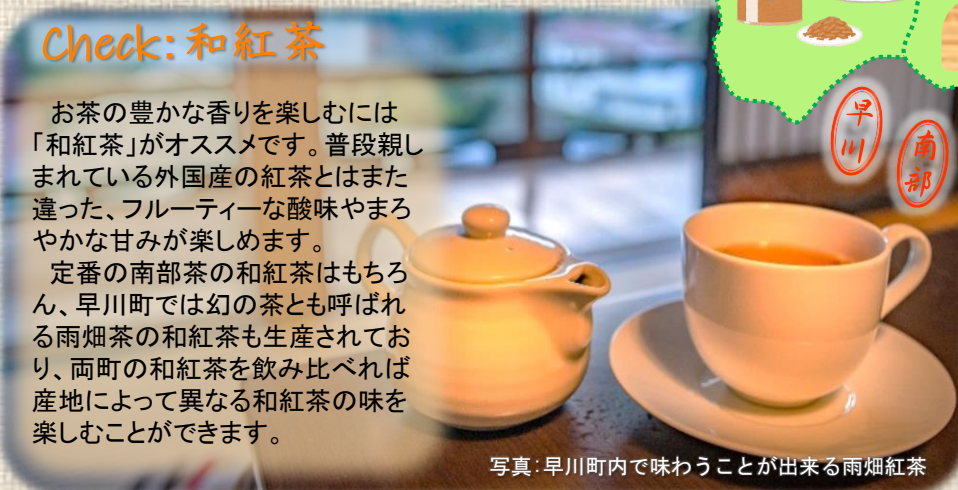


写真:早川町内で味わうことが出来る雨畑紅茶